

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課				
		実施期間	S45頃	～	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		6-1 個性豊かな地域づくりの推進						

1 現状と課題

人口減少が著しい中山間地域等における地域活力の維持・確保を図るため、地域を担う人材の確保・育成、多様な主体による地域活動の活性化や地域の拠点・基盤づくりに対する支援等に取り組んできたが、住民の主体的な地域づくりを持続可能なものにするためには、直接的な支援にとどまらず、それぞれの支援策が有機的に機能し、地域づくりのプロセスに一貫して寄り添う支援が求められている。

2 事業目的

地域住民が、自らの地域の価値を捉え直し、地域内外の多様な主体と交流・連携しながら、主体的に地域づくりに取り組み、自治の力を発揮しながら持続可能な暮らしを営めるよう支援する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①地域づくり活動に寄り添う中間支援人材育成及び活動支援
- ・地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材であるまちむら寄り添いファシリテーターを育成するため、実践活動を行う人材育成講座を実施
 - ・活動の普及と理解者を増やすため、HP等でまちむら寄り添いファシリテーターの活動プロセスや事例等の情報を発信
 - ・まちむら寄り添いファシリテーターが活動を継続するためのフォローアップを実施
 - ・まちむら寄り添いファシリテーターと各種コーディネーター等とのつながり創出のため、交流会を開催
- ②市町村地域おこし協力隊員の受入・定着を促進
- ・市町村協力隊員の受入を支援するため、合同募集説明会を開催
 - ・協力隊員の資質向上のため、協力隊員の活動ステージに応じた研修を開催
 - ・協力隊員と行政・地域の協働促進のため、県職員によるこれまでの調査活動を総括し、必要な県支援施策を策定
 - ・協力隊員の募集・受入体制の質の向上により適切な人材確保につなげるため、課題を抱える市町村に対して中間支援組織による伴走支援を実施
- ③特別豪雪地帯での暮らしを支える克雪対策を推進
- ・特別豪雪地帯における高齢者等の暮らしを支えるため、市町村の行う高齢者等対象世帯の家屋の屋根等の除排雪、住居から生活道路までの除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	中間支援人材育成講座修了生のうち活動した者の割合	%	45.0	48.0	↗	48.0	→	56.0	未達成	修了生が住民や多様な主体と行う活動が、持続可能な地域づくりに資するため。修了生へのフォローアップの拡充を行うことで既存修了生及び新規修了生の活動割合を高め、56%を目標値とする。	
②	市町村地域おこし協力隊員の定着率	%	85.0	78.3	↘	81.8	↗	75.0	達成	市町村地域おこし協力隊員の任期終了後の地域への定着が、地域の活力確保に資するため。しあわせ信州創造プラン2.0において、地域おこし協力隊員の定着率を令和4年度まで毎年度75.0%以上とすることが目標であるため、同値を設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	15,853	4,000	19,853		17,441	6.3
R3年度	2,896,223	15,225	4,002	2,915,450		2,838,080	6.0
R2年度	72,400	17,187	4,898,959	4,988,546		2,144,229	7.8

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

6 主な取組実績と成果

①地域づくり活動に寄り添う中間支援人材育成及び活動支援

- ・全7回にわたる連続講座を開講し、地域に寄り添い、住民の相互理解を深める対話の場づくりを行うことができる人材である「まちむら寄り添いファシリテーター」を16人新たに養成した。
- ・今までの講座における実践活動等から培ったノウハウを、「地域に寄り添った対話の場づくり実践ガイド」としてとりまとめ、活動の普及を図った。
- ・「まちむら寄り添いファシリテーター」の役割や活動の意味を発信するため、修了生の活動事例を掲載するHPを作成した。

②市町村地域おこし協力隊員の受入・定着を促進

- ・協力隊員の資質向上のため、隊員の活動ステージに応じて、1年目の隊員向けの初任者研修を1回、定着・起業に向けて活動している隊員向けのスキルアップ研修を1回開催した。研修参加者のアンケートでは、「参考になった」「他地域の協力隊との繋がるきっかけになった」など好評を得ることができた。
- ・県協力隊員によるこれまでの調査活動を総括し、県協力隊員の目線から県の支援策に対する課題及び必要と思われる支援策について分析を行い、翌年度以降の事業の見直しを図った。
- ・隊員の募集・受入体制の質の向上による適切な人材確保に向け、佐久穂町を対象に募集案件の検討から採用まで、専門的な知識・ノウハウを持つ中間支援組織とともに伴走支援を実施。募集・受入体制設計の重要性について、他地域に横展開できる事例を創出した。

③特別豪雪地帯での暮らしを支える克雪対策を推進

- ・9市町村を対象に、高齢者等対象世帯の家屋の屋根等の除排雪、住居から生活道路までの除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	中間支援人材育成講座修了生のうち活動した者の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	未達成
新型コロナウイルスの影響が縮小してきたこと等により活動がしやすい状況になりつつある一方で、他の活動の多忙化により対話の場づくりに割くことができる時間が減少したことや、修了生の活動プロセスの共有が不十分であったこと等から、全体としては横ばいでの推移となり、目標値には至らなかった。							
指標②	市町村地域おこし協力隊員の定着率	R3年度推移	↘	R4年度推	↗	達成状況	達成
協力隊員と行政・地域の協働促進のため、令和2年度から長野県地域おこし協力隊員を配置し、地域協働に関する課題や事例の調査研究を行っており、サポートネットワークなどを通して参考となる事例・情報の共有に取り組んだことにより、市町村の協力隊員受入体制・支援体制の見直しに繋がり、定着率は目標値を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・地域における学びと自治の場づくり促進事業については、修了生のファシリテーターとしての活動プロセスの分析と共有・発信を進めることで、活動のフォローアップを行い、修了生の活動継続と促進を図る必要がある。
- ・地域おこし協力隊受入・活躍支援事業については、令和2年度から令和4年度にかけて県協力隊員が調査した結果から、受入体制・サポート体制の強化や、協力隊員の活動・定着支援に係る研修の拡充などが課題と分析している。また、研修後のアンケートでは、様々な分野の活動事例を知りたいという声もあり、内容の検討・研修回数の増加が必要である。
- ・人口減少、高齢者世帯の増加により、自力で屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。さらに、近年の経済状況等を考慮し、補助単価アップ等の制度の見直しが必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・地域における学びと自治の場づくり促進事業については、修了生の活動継続と促進が必要と考えており、令和4年度に実施した修了生アンケート等を踏まえ、修了生交流会等を開催するとともに、修了生のファシリテーターとしての活動プロセスの分析と共有・発信を進め、引き続き活動のフォローアップを図っていく。
- ・地域おこし協力隊受入・活躍支援事業については、県協力隊員の調査結果を基に、受入体制・サポート体制を強化するため、市町村担当職員向けの研修や、協力隊員の募集・受入に課題を抱える市町村への支援を行う。また、協力隊員の活動・定着支援体制を強化するため、初任者研修、スキルアップ研修の回数を増やし実施するとともに、専門的な知識を持つ中間支援組織と連携し、内容の拡充を図る。
- ・引き続き、特別豪雪地帯住宅除雪支援事業の実施を通じて大雪時における人的被害、住家被害の防止を図るとともに、近年の経済状況を踏まえた補助単価の改定等を行い、市町村の取組を支援していく。

事業番号	02 08 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	地域における学びと自治の場づくり促進事業	4,110 千円	2,452 千円	3,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中間支援人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材であるまちむら寄り添いファシリテーターを育成するため、実践活動を行う人材育成講座を実施 ・活動の普及と理解者を増やすため、HP等でまちむら寄り添いファシリテーターの活動プロセスや事例等の情報を発信 ・まちむら寄り添いファシリテーターが活動を継続するためのフォローアップを実施 ・まちむら寄り添いファシリテーターと各種コーディネーター等とのつながり創出のため、交流会を開催 	
		新規修了生16名		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	地域おこし協力隊受入・活躍支援事業	4,219 千円	4,211 千円	7,635 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	市町村地域おこし協力隊員の受入・活躍の支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の受入支援のため、市町村地域おこし協力隊員の合同募集説明会を開催 ・情報共有・支援体制強化のため、市町村地域おこし協力隊員・隊員OB・OG・行政職員からなるサポートネットワーク（10地域振興局）における情報共有を実施 ・協力隊員の資質向上のため、協力隊員の活動ステージに応じた研修を実施 	
		初任者研修1回、スキルアップ研修1回を開催		
2	長野県地域おこし協力隊員の配置	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊員と行政・地域の協働促進のため、令和2年度から配置している長野県地域おこし協力隊員によるこれまでの調査活動を総括し、必要な県支援施策を検討・提案 ・協力隊員のつながりの場づくりのため、市町村隊員等の交流の場（SNS、交流会）を実施 ・協力隊員の定着支援のため、隊員の受入体制等に課題を抱える市町村に対し、県隊員を派遣してコーディネートを行う中間支援を一部市町村でモデル実施 	
		1市町村でコーディネート支援をモデル実施		
3	地域おこし協力隊員募集・受入体制支援事業	委託 直接	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の募集・受入支援のため、有識者による伴走支援のノウハウや知見を供与し、中間支援組織に伴走支援チームを形成 ・協力隊員の募集・受入体制の質の向上により適切な人材確保につなげるため、支援対象市町村の募集検討段階から採用まで中間支援組織とともに伴走支援を実施 ・市町村の募集・受入体制の質の向上のため、地域おこし協力隊サポートネットワークを通じ、本事業の成果の共有・横展開を実施 	
		1市町村で伴走支援をモデル実施		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業	5,976 千円	9,573 千円	4,325 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	<p>特別豪雪地帯における高齢者等の暮らしを支えるため、特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施</p> <p>9市町村に対して補助を実施</p>	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	地域づくり活動推進事業	1,910 千円	1,948 千円	1,981 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域づくりネットワーク長野県協議会負担金	負担金	<p>地域づくりネットワーク長野県協議会に対し、負担金を支出</p> <p>【団体概要】 地域づくりの自主的・主体的な活動のすそ野を広げるため、地域づくり団体への情報提供、地域づくり団体相互の交流の促進等を実施</p> <p>県内地域づくり団体等を対象としたフォーラムの開催1回（やまびこフォーラム）</p>	
2	（一財）地域活性化センター運営負担金	負担金	<p>（一財）地域活性化センターに対し、負担金を支出</p> <p>【団体概要】 活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし、地域社会活性化の諸活動への支援等、地域振興の推進に寄与する各種事業を実施</p> <p>「地域づくり」発刊（毎月）、地方創生実践塾の開催（13回）、地方創生セミナーの開催（18回）</p>	
3	（一社）全国過疎地域連盟負担金	負担金	<p>（一社）全国過疎地域連盟に対し、負担金を支出</p> <p>【団体概要】 全国の過疎地域が連携して過疎対策事業の充実強化を図るため、過疎対策に係る調査・研究や政府予算・施策への要望活動、自治体間の情報交換等を実施</p> <p>国等への要望活動の実施（5回）</p>	
4	全国山村振興連盟負担金	負担金	<p>全国山村振興連盟に対し、負担金を支出</p> <p>【団体概要】 全国における山村地域振興のため、関係者相互の緊密な連携・提携を図り、山村振興政策に係る政府予算・施策への要望活動や実務者研修会等を開催</p> <p>国等への要望活動の実施（5回）</p>	
5	全国積雪寒冷地帯振興協議会負担金	負担金	<p>全国積雪寒冷地帯振興協議会に対し、負担金を支出</p> <p>【団体概要】 積雪寒冷地帯の道府県、市町村が緊密に連携し、大規模豪雪災害や関係基本法制度の見直しに対する要望活動、会員相互及び関係機関との情報交換等を実施</p> <p>国等への要望活動の実施（4回）</p>	